

地球電磁気・地球惑星圏学会

SOCIETY OF GEOMAGNETISM AND EARTH,
PLANETARY AND SPACE SCIENCES (SGEPSS)

第 116 号 会 報 1987年 7 月 1 日

目 次

I 第82回総会ならびに講演会開催のお知らせ	1
II 第82回総会ならびに講演会の会場案内	3
III 講演申込用紙及び予稿集原稿用紙の様式変更について	5
IV 田中館賞基金醸金のお願ひ	5
V 予稿集の値上げについて	6
VI 秋季 AGU 総会への若手研究者派遣について	6
VII 新入会員等	6
VIII 教官公募案内	7
IX <ニュース>地震学会も学会連合検討へ	8
X 新博士誕生	8
XI 共同利用研究課題の公募	9
XII その他	9
学会役員の主な連絡先	10

I 第 82 回総会ならびに講演会開催のお知らせ

信州大学のお世話により下記の通り開催されます。

1. 期 間 昭和 62 年 9 月 28 日 (月) ~ 30 日 (水)
2. 会 場 信州大学・教養部
(連絡先 0263-35-4600 (内線) 4165 百瀬寛一会員)
3. 講演申込および予稿原稿送り先

* 地球内部関係は

〒 606 京都市左京区吉田二本松町
京都大学 教養部地学教室 住友 則彦 宛

* 地球外部関係は（惑星・隕石・太陽系を含む）

〒442 豊中市穂の原3-13

名古屋大学空電研究所 田中 義人 宛

<締切り 8月19日(水) 必着>

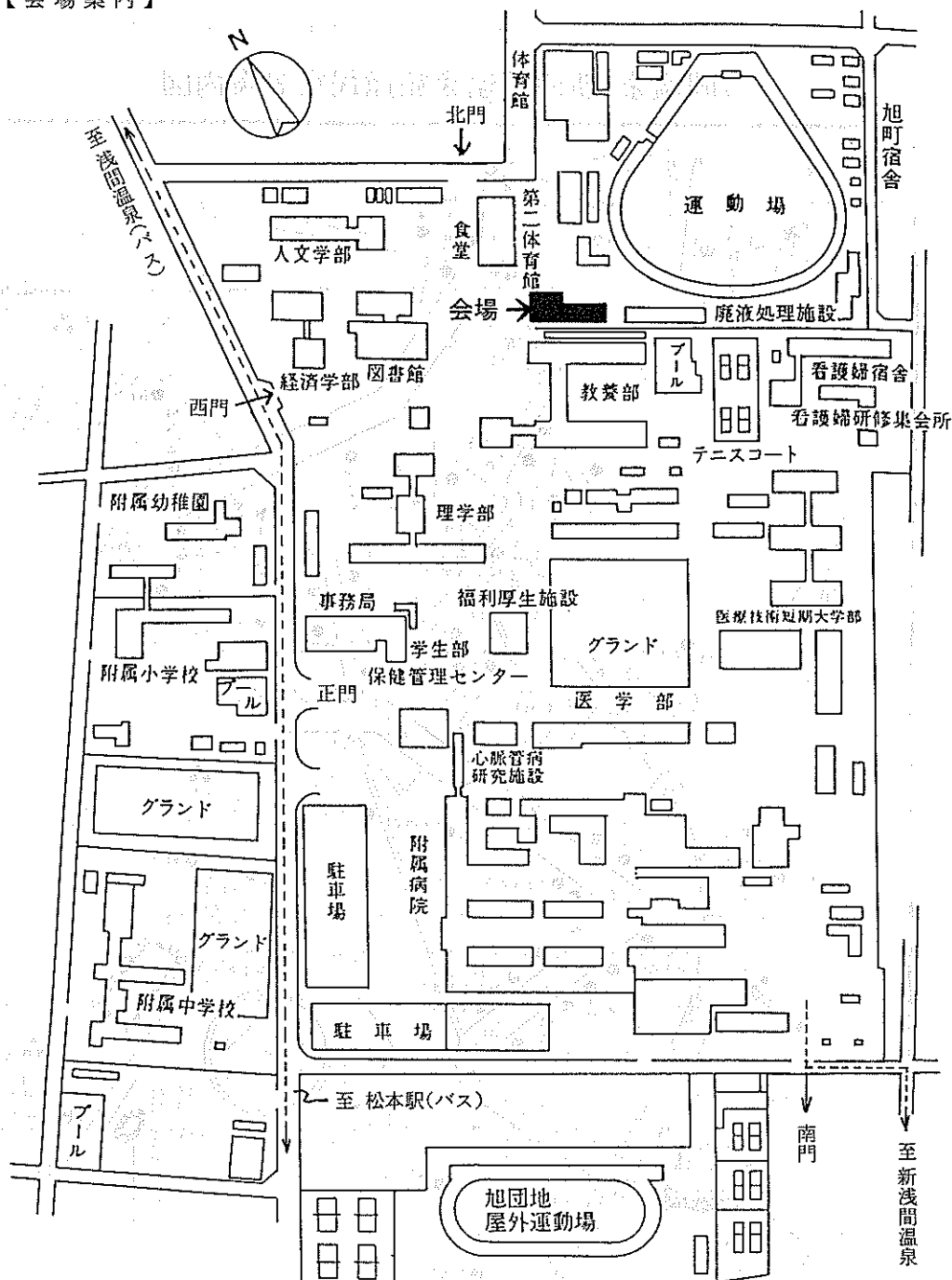
予稿原稿は、同封用紙に黒インキまたはボールペンで丁寧にお書き下さい。用紙がさらに必要な場合は、学会事務センター宛に直接御請求下さい。

4. 本学会では、ポスターセッションを口頭発表のセッションと同等或いはそれ以上の充実したものにしたいと考えています。奮ってポスターセッションに御申込み下さい。
5. 今回も前回同様、特に分野を定めずに約50編の論文発表をポスターで行う予定です。ポスター希望者は申込用紙の所定欄にその旨記入して下さい。ただし口頭発表を希望しておられてもポスターに廻ることがありますので、予め御了承下さい。口頭発表の場合はプログラム編成上関連セッションが平行になる場合もありますが、ポスターの場合には平行セッションを行いませんのでお勧めできます。
6. ポスターボードには、前回と同様ベニヤ板を会場の壁に縦に立てかけたものを使う予定です。
7. 非会員のみによる講演申込みは受け付けませんので御注意下さい。論文著者名の先頭（ファースト・オーサー）になれるのは1人1編限りです。ほぼ同じ内容の話ファースト・オーサーだけを取りかえて、複数の論文として申し込むことはおやめ下さい。
8. 講演時間は1講演当り15分（講演12分、質疑応答3分）以内とします。
9. 締切り日を厳守して下さい。締切日以降に到着した申込みは自動的に却下します。電話による申込みや遅延依頼は受け付けません。
10. 田中館賞候補者推薦（必要書類は推薦書、被推薦者履歴書、業績リスト、関連論文別刷等を計11部）は、8月15日（土）までに会長宛書面でご提示下さい。
11. 総会議題の申込みは、8月31日（月）までに会長宛書面をお願いします。

Ⅱ 第82回総会ならびに講演会の会場案内

信州大学・教養部 (〒390 松本市旭3-1-1)

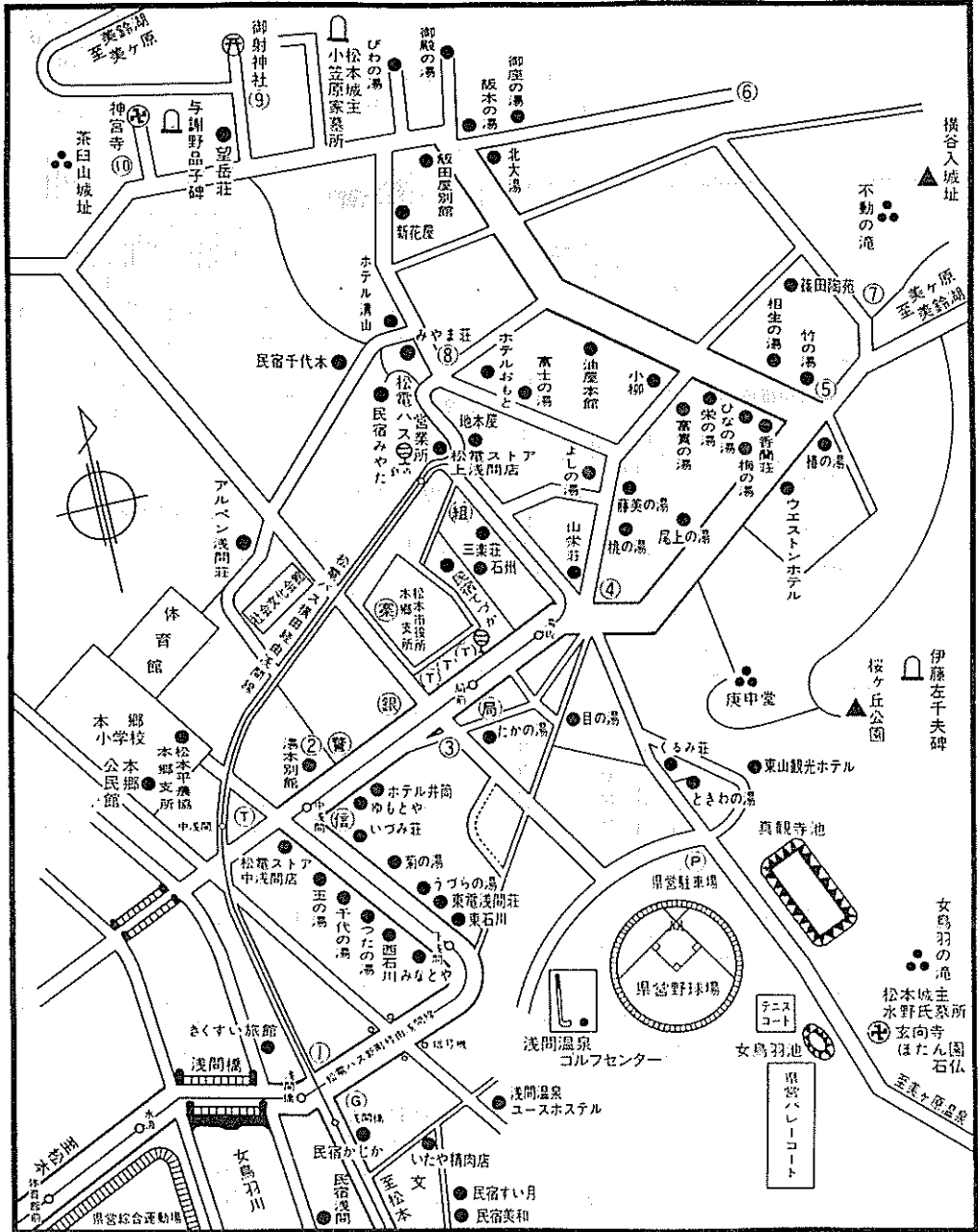
【会場案内】



【宿泊施設】

松本駅周辺の宿泊施設については、既に会報第115号で御紹介致しましたが、百瀬会員より浅間温泉の旅館民宿等の案内図も送られて参りました。御参考のために図のみ掲載致します。料金や電話番号迄掲載するスペースは有りませんが、「松本市役所本郷支所浅間温泉観光協会、Tel 0263 (46) 1800」にAM 8:00~PM 5:00 までに連絡すれば宿泊について御紹介いただけます。

浅間温泉・新浅間温泉旅館民宿等案内図



Ⅲ 講演申込用紙及び予稿集原稿用紙の様式変更について

運営委員会では、1) 研究の現状をよりよく反映する様なプログラム編成(講演申込み様式(セッション等)の検討)、2) 講演の内容を外国人参加者に理解してもらうこと(予稿集原稿の講演題目、発表者名の和・英併記)、並びに、3) 英文プログラムの作成、に関する議論を行い、講演申込用紙及び予稿集原稿用紙の様式を変更しました。また、今回から予稿原稿のコピーを一部添付していただくことになりました。会員各位の御理解、御協力をお願い致します。

Ⅳ 田中館賞基金醸金のお願い

会長 木村 磐根

地球電磁気・地球惑星圏学会の新名称が4月1日よりスタートし学会も新しい再出発を致しましたが、学会名称変更に伴う思わぬ出費や金利低下などが重なり財政的に深刻な問題が出ております。その1つが田中館賞基金であります。

現在まで田中館賞は50万円の基金の定期預金の利息によって賄われて参りましたが、その年間の利息は現在2万円余りであります。一方学会名称変更もあり、今までの田中館賞のメダルのストックがなくなったこともあって今回新しく10ケのメダルを作成し、又田中館賞の賞状も新しい名称に代えて印刷を致しましたが、それらが合計20万円近くかかっており、田中館賞1件で約1.5万円ほどの費用がかかることになりました。また、基金も大幅に減少しますので、結局上記利息によっては年間1名程度しか賞が出せない勘定になります。

一方、たまたま最近の続く2回の総会では各4名ずつの授賞となり、今迄の受賞者数は計111名ともなりましたので、総会員数から見て受賞者数が多過ぎるといご批判もあります。しかし、最近でも受賞者なしの総会もありますし、又、期間の40年で割りますと、年平均2.8件(1総会あたり1.4件)程度となります。また評議員会ではこれらのことも考慮の上十分慎重に審査されております。

以上のことを考えますと、受賞者数を年2~3件としても、上記の基金で賄うことは不可能であることは明らかであります。この事態に鑑み4月5日の評議員会では、とりあえず評議員会メンバーから醸金をお願いして12万円ほど集まりました。学会の一般会計から田中館賞基金を補助するという考えもありますが、今回の総会で報告がありましたように、この方も年々繰越金を食いつぶしており、早晚会費値上げか学会参加登録料又は講演申込料を徴収するかのいずれかを実施しなければならぬ事態になっております。

以上の理由から、田中館賞基金の健全運営ができますよう基金を増やしたく、会員の方々からのご寄付をお願いする次第でございます。御賛同が得られます場合には学会事務センター宛(第一勧業銀行・根津支店、普通預金、口座番号1052330、名義：地球電磁気・地球惑星圏学会田中館賞

会長 木村 磐根)によりお振り込み頂きたく存じます。どうかご理解ご協力のほどお願い致します。

V 予稿集の値上げについて

予稿集は長年『1,500円』に据えおかれてきましたが、最近印刷経費上昇により毎回赤字を出している状態です。このため次回より、やむをえず『2,000円』に値上げします。今後とも経費節減に努力していくつもりですので御了承下さい。

なお、新たに講演申込料(1件1,000円程度)を設けることを運営委員会として提案したいと考えております。次回総会にお諮り致しますが、御意見をお持ちの方は近くの運営委員迄お寄せ下さい。

VI 秋季AGU総会への若手研究者派遣について

6月1日発行の会報中の会長挨拶にも述べられていますが、米国AGUと当学会の協力関係を強める事業の1つとして秋季AGU総会への若手研究者派遣の奨励が考えられています。秋季AGUは例年、米国西海岸サンフランシスコで開催されることもあり、これ迄本学会からも多くの会員が出席されております。しかし若手研究者にとっては渡航経費を調達することは必ずしも容易ではありません。勿論、本学会には直接旅費を援助しうる財源はありませんが、このような若手研究者の海外渡航を援助して頂けそうな財団に本学会より1名程度推薦してみたいと考えております。特に35才以下の若手研究者で派遣を希望される会員は、会長宛直接、氏名、発表論文名、所属機関名をお知らせ下さい。

VII 新入会員等

運営委員会で次の方々の入会が承認されました。

(*印 学生会員)

前田 有紀子 (地球科学総合研究所)

三宅 互 (郵政省電波研究所)

田口 聡 (京大理)*

河野 祐一 (宇宙研)*

向井 正 (金沢工大物理)

古川 雅英 (神大院自然科学)*

また次の方が退会されました。

近藤 忠 (海上保安庁)

これにより会員数は以下の通りとなりました。

正 会 員	570名
(内 学生会員	57名)
名 誉 会 員	6名
賛 助 会 員	11名

VIII 教 官 公 募 案 内

文部省宇宙科学研究所より、下記2件の教官公募が行なわれています。

1. 公募人員・教授 1名
所属部門：惑星研究系：比較惑星学部門
専門分野：比較惑星学的見地からの太陽系生成進化の実験的研究。同研究系には現在惑星大気物理学部門、惑星大気計測学部門及び超高層大気物理学部門があります。当該部門の責任者として、関連部門と密接に協力しつつ研究を主導すると共に、固体惑星探査計画の立案と遂行に主導的な役割を果たす方を希望します。
2. 公募人員・助教授 1名
所属部門：惑星研究系：惑星大気物理学部門
専門分野：原始大気や宇宙物質中の生命情報形成の原理を探るため、現存の生体物質や宇宙物質中の原始生命情報を実験的に追究、検証する。宇宙分子生物学の発展に意欲を持つ方を希望します。当該部門の教授には清水幹夫が在職しています。

いずれも

着任時期：決定後、昭和62年度内のなるべく早い着任を希望。

提出書類：(1)略歴、(2)研究歴、(3)論文リスト及び主要論文別刷、(4)研究計画書(自薦の場合のみ)、(5)他薦の場合：推薦書2通。自薦の場合：本人について意見を述べられる人2名の氏名、連絡先。

公募締切：昭和62年8月10日

宛 先：1) 宇宙科学研究所 所長 小田 稔

〒153 東京都目黒区駒場4-6-1

電話 (代表) 03-467-1111

2) 問合せ、及び資料の請求は下記に願います。

惑星研究系主幹 伊藤 富造 内線 347

その他：当研究所は国立大学共同利用機関の一つで教官人事には国内における共同研究並びに国際協力を積極的役割を果たす人が期待されています。

選考は、宇宙科学研究所運営協議員会議に於いて行ないます。応募者に適任者がいない場合、決定を保留することがあります。封筒の表に「教授応募（推薦）書類在中」、或いは「助教授応募（推薦）書類在中」と朱で明記して下さい。

IX <ニュース> 地震学会も学会連合検討へ

地震学会内に学会連合委員会（斉藤正徳委員長）が設けられ、学会連合に関する検討が進められています。本学会でも学会名称変更に際して、広く地球物理関係諸学会の連合に関しても討議されていたことは、まだ記憶に新しいことと思います。当面は、地震学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、火山学会、測地学会が討議の対象となる予定です。（本蔵義守 会員）

X 新博士誕生

最近2年程の間に本学会々員の中から次の博士が誕生致しました。

1. 小原隆博（宇宙研）

論文名「Study on plasma in the ionosphere and the magnetosphere using plasma wave sounders on board the scientific satellites」

（昭和60年3月、提出大学：東北大理）

2. 賀谷信幸（神戸大・工）

論文名「Observations and diagnostics of plasma particles in passive and active experiments by space vehicles」

（昭和61年7月、提出大学：京大工）

3. 向井利典（宇宙研）

論文名「Study of hemispherical electrostatic analyzers and its application to rocket and satellite observations of low energy electrons」

（昭和61年9月、提出大学：京大工）

4. 川本洋人（高知大）

論文名「A theoretical study on chemical compositions of negative ions in the lower atmosphere」

（昭和62年3月、提出大学：京大理）

XI 共同利用研究課題の公募

京都大学超高層電波研究センターから昭和62年度後期(62年10月～63年3月)共同利用研究の公募要項が発表されています。

共同利用研究の中心的設備となる MU レーダーは我国最初の中層・超高層大気観測用 VHF 帯大型レーダーです。同レーダーは送信周波数 46.5 MHz , 尖頭送信出力 1 MW のモノスタティック・パルスドップラーレーダであり, 475 本の直交三素子八木アンテナとその各々に接続された固体送受信機によるアクティブ・フェーズドアレイを構成しています。この方式を用いることによって, 高速度のアンテナビーム走査やアンテナの分割使用といった, 従来の大型レーダーにない自由な使用が可能となっています。

現在は高度 2～25km の対流圏・下部成層圏, 高度 60～90km の中間圏及び高度 100～500 km の電離圏領域の観測が主に行われています。他に共同利用に供される設備としてはアイオノゾンデ, 二周波レーダー, ラジオゾンデ等があります。

【応募資格】

申請者は, 教授, 助教授, 講師及び助手(他省庁等については相当職の研究者)に限ります。利用を希望される方は, 下記に申請書類等が用意されていますので御問い合わせ下さい。なお, 今回の締切りは昭和62年8月15日(土)ですので御留意下さい。

〒611 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学超高層電波研究センター事務室

TEL 0774-32-3111

(内線 3330)

XII その他

前回の会報でもお願い致しましたが, 本年度科学研究費受領状況を会報で紹介したいと思います。総合(A), (B)並びに一般(A), (B)の代表者は深尾運営委員迄お知らせ下さい。また最近各大学で審査をパスした博士学位論文の論文名, 氏名, 大学名を深尾委員まで御連絡下さい。

学会役員の名な連絡先

会 長 〒606 京都市左京区吉田本町
木 村 磐 根 京都大学工学部電気工学第二教室
(Tel) 075-751-2111 (内線) 5348
075-751-8201 直通
(FAX) 同 上

運営委員会
総 務 〒611 宇治市五ヶ庄
松 本 紘 京都大学超高層電波研究センター
(Tel) 0774-32-3111 (内線) 3332
0774-33-2532 直通
(FAX) 同 上

同 庶 務
深 尾 昌一郎 (Tel) 0774-32-3111 (内線) 3352
(FAX) 0774-31-8463 事務室

発 行 地球電磁気・地球惑星圏学会
〒113 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル
(財)日本学会事務センター内
電 話 (03) 817-5801
ファックス (03) 817-5800